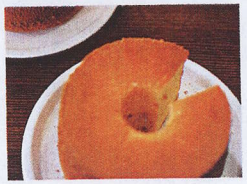
聖徳太子を追い、パンをほおばりカフェでお茶。



てぃーさろん かふうりん
ティーサロン 花風林

全部で約30種類はあるというシフォンケーキは、毎日３～５種類ほど店頭に並ぶ。抹茶あずきやキャラメルナッツなど、どれも食べたくなる！　歩き疲れたら糖分補給をしよう。１カット250円、ホール1,200円～。✆0745-74-1248　9:30～17:00　木曜休　P５台

きたこみち
北小路

聖徳太子の足跡を辿る前に腹ごしらえ！こちらは開店してから22年、お値段据え置き。お母さんが作ったおかずに、お手製の梅干しが付いた北小路定食650円はかなりのお値打ちです！　✆0745-75-4060　11:30～16:30（売り切れ次第終了）無休　P４～５台

ACCESS
車／西名阪道法隆寺IC→県道５号線を北へ、ICから約１km　電車／JR大和路線法隆寺駅→徒歩すぐ

あかそめのいしせき みついし
赤染の井（史跡 三井）

太子が掘った!?
伝説の井戸。

601（推古天皇９）年、太子が斑鳩宮を造営し、605（推古天皇13）年、斑鳩に46ケ寺を建てたと伝えられる。その時、聖徳太子が掘ったとされる３つの井戸を飛鳥から斑鳩に移るにあたって移動させた。中でも現存するただ一つがこの［赤染の井］。山背大兄王ら子の産湯だ。石組の下に周囲を煉瓦で囲む古い形状を見ることができる。また、地名の「三井」はこの井戸があったことからきている。井戸の上には屋根がかけられている。

●奈良県生駒郡斑鳩町三井1570　法輪寺そば

ちょうしまるこふん
調子丸古墳

生涯を太子に捧げた、
従者の墓はひっそりと。

聖徳太子生涯の従者だった調子丸（調子麻呂）の墓と伝えられている。彼は『日出処の天子』第一巻から、ハンサムな舎人として登場。采女（後宮に仕える侍女）たちに黄色い声援を浴びせられるようなキャラクターだ。墓は民家が隣接した田の中にあり、あぜ道を通らないと辿り着けない。墓の北側から、土馬の頭部が出土した。それにしても、愛馬の墓（駒塚古墳）よりも人間の墓が小さいのは、なぜだろうか。

●奈良県生駒郡斑鳩町東福寺　［駒塚古墳］の南側約100m

かみやいせきこうえん
上宮遺跡公園

聖徳太子、晩年の住処にして、
一族が住んだ宮跡？

遺跡の名は聖徳太子の一族を上宮王家と呼ぶことから。現在は公園となっているこちらは、聖徳太子が最愛の妻・膳臣菩岐美郎女とともに晩年を過ごした［斑鳩遷宮］が、ここから南側にかけてあったとされている。今は、奈良時代の宮殿の柱の跡などが一部見られるように整備されている。想像をたくましく働かせれば、聖徳太子が静かに過ごされた様子が瞼に浮かんでくる!?

●奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺南3-16　✆0745-74-1001（斑鳩町役場）

こまづかこふん
駒塚古墳

発掘の進展に期待、
太子が愛した馬の墓。

聖徳太子は、古代王族の中でも馬をよく乗りこなした貴人のひとりであったらしい。コミックにも乗馬シーンは多く登場。飛鳥から斑鳩に移る際も、猛スピードで馬をとばしたのだとか。そんな太子の愛馬、黒駒の墓と伝えられているのがこちら。黒駒は主人である聖徳太子が亡き後、悲しみのあまりその墓前で亡くなったと伝えられている。国道沿いにあり、すぐ隣まで民家が迫っており、斑鳩町による発掘が進められている。

●奈良県生駒郡斑鳩町東福寺　R25沿い南側

まんが篇⑤

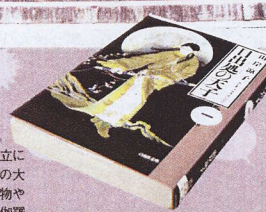
日出処の天子

ひいづるところのてんし

取材・文／海津澄子　写真／近藤宏樹

聖人・聖徳太子の大きなカケラ。

『日出処の天子』は従来ある聖徳太子像＝聖人から、政治的駆け引きと軍略の天才にして超能力者、しかも蘇我蝦夷に懸想するという大胆な解釈を加えて発表されたコミック。聖徳太子14歳の年、物部守屋との戦いで、白膠木（ぬるで）という木を削って四天王の形を作り、「この戦に勝利したなら、四天王を安置する寺を建てる」と誓願した。そして勝利を得て建立したのが、大阪市天王寺区にある［四天王寺］。また、聖徳太子が建てた法隆寺から程近い、「上宮遺跡公園」は、晩年を過ごした［斑鳩遷宮］跡と伝えられている。奈良には聖徳太子の愛馬と伝えられる、黒駒の［駒塚古墳］と、従者・調子丸（調子麻呂）の［調子丸塚古墳］がある。法輪寺の近くは、聖徳太子が息子たちに産湯を使わせるために掘った三つの井戸のうち、「赤染の井」が今も残っている。こうして謎だらけの聖人の、〝大きな〟カケラを集めてみてはいかがだろうか。



かつてない題材を扱ってきた山岸凉子の傑作である。第一巻590円（白泉社、全７巻）。

聖徳太子も食べたかも!?「なにわでんとうやさい」の飴。

とよしたせいか
豊下製菓

明治５年創業の老舗飴菓子店。古代から伝わるなにわ伝統野菜をかたどった飴は、８種類12粒入りで630円。なんと野菜エキス入り！　●大阪市阿倍野区美章園2-13-3　✆06-6719-4458　9:00～17:00　土・日・祝休　P10台

してんのうじ
四天王寺

両彼岸、市で賑わうお寺の秘密。

593（推古元）年に、聖徳太子が建立に着手したと言われる、日本仏法最初の大寺。幾度も災害に遭遇し、当時の建物や宝物は残されていないが、「四天王式伽藍配置」という日本で最も古い建築様式の１つを今に伝えている。毎月21・22日に市が立つことでも有名。

●大阪市天王寺区四天王寺1-11-18　✆06-6771-0066　中心伽藍・宝物館8:30～16:30（４～９月）、8:30～16:00（10～３月）　本坊庭園10:00～16:00　拝観料（共通券：中心伽藍、宝物館、本坊庭園）大人700円、大学・高校生400円、小・中学生200円（庭園のみ）　P30台

ACCESS
車／阪神高速１号環状線夕陽丘出口、出口から５分　電車／地下鉄谷町線四天王寺前夕陽ケ丘駅→徒歩約５分